

みなさんこんにちは。大阪府立とりかい高等支援学校のホームページにおいていただきありがとうございます。

とりかい高等支援学校校長として3年目を迎えました。今年度もよろしくお願いいたします。

この3年間、学校は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教育活動が規制されることや自粛を求められることが数多くありました。が、ようやく徐々にではありますが元の状況に戻りつつあります。3月17日付文部科学省の通知を受け、大阪府教育庁から示された4月1日以降の学校におけるマスクの取扱い等について示されたこと等により、学校教育活動の実施にあたっては、マスクの着用を求めないことが基本となりました。また、府立学校においては、生徒の健やかかつ充実した学びを保障するため、通常形態での教育活動を継続するとともに引き続き、感染症対策に留意することが求められています。5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行され、さらにその対応が変わっていくと思われませんが、大阪府教育庁の方針に従い、適切な対応に努めてまいりたいと考えています。

さて、本校は、平成25年4月に「知的障がいのある生徒が就労を通じた社会的自立を支援する学校」として、職業に関する専門学科3学科（生産技術科、食とみどり科、生活科学科）を設置する高等部単独の高等支援学校として開校し、昨年度、創立10周年を迎えました。その時の社会情勢等により違いはありますが、卒業生のほぼすべてが企業就労をはじめ、自分の希望する進路実現ができています。これからも、生徒や保護者のニーズをしっかりと受けとめ、生徒一人ひとりの持てる力や強みを引き出し、自己実現をかなえる学校として、さらに教育力の向上をめざしていきたいと考えています。そして、本校では高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進するため、府立千里青雲高等学校と府立北摂つばさ高等学校に共生推進教室を設置しています。共生推進教室の生徒は、週に1日、本校で「職業に関する専門教科」を学んでいます。共生推進教室の生徒間の交流だけでなく、本校生徒との交流もさらに進めたいと思っています。

次の10年では、これまで積み上げてきた教育実践を活かし、生徒が他者とのつながりの中で自分らしさを発揮し、社会に貢献できるような人材となれるよう、教育内容や職場実習の在り方等について、成果の検証とさらなる充実を図り、学校、家庭、地域の連携のもと、生徒の「働きたい」夢を一緒にかなえたいと思います。

知的障がい教育に関わる方々をはじめ、初めて本校のホームページをご覧になった多くの方々も含め、皆様のご理解、ご支援をいただくことで、本校の教育はさらにパワーアップできると思っています。これからもよろしくお願いいたします。

令和5年4月1日 校長 松村 高志